

2015年度の温室効果ガス排出実績

当社は、安全確保(Safety)を大前提に、エネルギー安定供給(Energy security)、環境保全(Environmental conservation)、経済性(Economy)の同時達成(S+3E)がエネルギー事業者としての使命と考えています。

具体的には、低炭素社会の実現に向け、安全確保を前提とした原子力発電所の再稼働に取り組むとともに、再生可能エネルギーの活用および火力発電の更なる高効率化や適切な熱効率の維持に努めています。あわせて、お客さまの省エネ・省CO₂の取り組み支援を行うなど、電力の需給両面でのCO₂排出削減に最大限取り組んでいます。

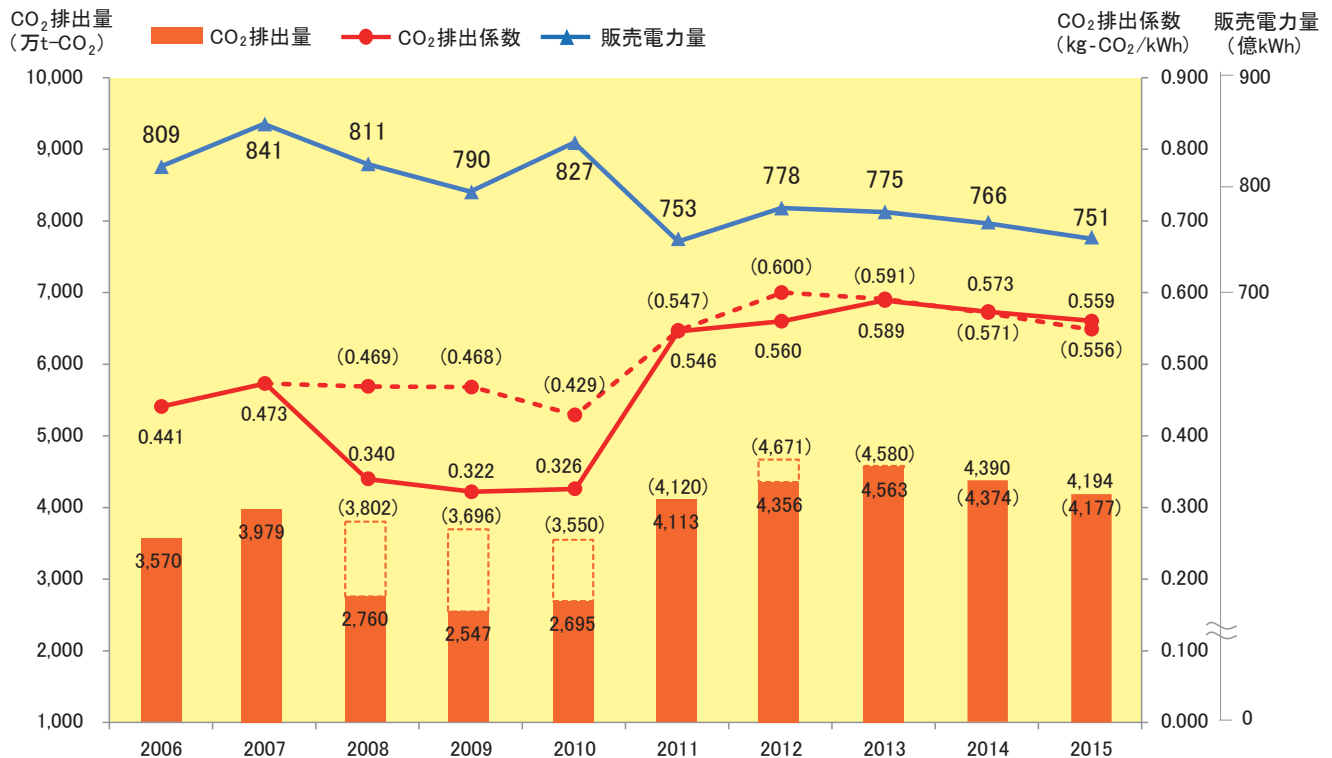
CO₂排出実績

2011年3月の東日本大震災以降、原子力発電停止の長期化などにより、CO₂排出実績は高い水準で推移しています。2015年度は、高効率火力発電所の運転開始や再生可能エネルギーの導入拡大などにより、火力発電に伴うCO₂排出量が減少したことから、CO₂排出量は前年度比4.5%減の4,194万t-CO₂、CO₂排出係数は同2.4%減の0.559kg-CO₂/kWhとなりました。

◆ CO₂排出実績

年 度	2015	(参考) 2014
販売電力量 [億 kWh]	751	776
CO ₂ 排出量 [万 t-CO ₂]	4,194 (4,177)	4,390 (4,374)
CO ₂ 排出係数 [kg-CO ₂ /kWh]	0.559 (0.556)	0.573 (0.571)

◆ CO₂排出実績と販売電力量の年度毎の推移



※ ()内の値は、再生可能エネルギーの固定価格買取制度による調整等を反映していない調整前CO₂排出量および排出係数
再生可能エネルギーの固定価格買取制度による調整につきましては経済産業省ウェブサイトをご覧ください
経済産業省ウェブサイトURL : http://www.meti.go.jp/committee/summary/0004568/pdf/008_02_00.pdf

(再生可能エネルギーの固定価格買取制度の導入に伴うCO₂排出係数の調整方法について)

Topics

「電気事業低炭素社会協議会」の設立について

当社を含む電気事業連合会関係各社および新電力有志は、2015年7月に公表した低炭素社会実行計画において掲げた目標の達成に向けた取り組みを着実に推進するため、2016年2月、「電気事業低炭素社会協議会」を設立しました。

会員事業者は、個社の取組計画に基づくPDCAサイクルを推進していくとともに、協議会において各社の取り組み状況を確認・評価し、協議会全体でもPDCAサイクルを推進することにより、事業者全体の目標達成に向けた実効性を高めていくこととしています。

(電気事業低炭素社会協議会ウェブサイト URL:<https://e-lcs.jp>)

<参考:電気事業低炭素社会協議会の低炭素社会実行計画>

	フェーズⅠ	フェーズⅡ
取組期間	2013～2020年度	2021～2030年度
排出係数目標	2020年度における国の電源構成や原子力の稼働見通しが不透明なため策定困難	2030年度：0.37kg-CO ₂ /kWh程度
BAT削減ポテンシャル	約700万t-CO ₂	約1,100万t-CO ₂

※ 排出係数0.37kg-CO₂/kWh程度は、政府の「長期エネルギー需給見通し」(2015年7月決定)で示されたエネルギーミックスから算出される国全体の排出係数

(2030年度CO₂排出量(3.6億t-CO₂) / 2030年度の電力需要想定値(9,808億kWh) = 0.37kg-CO₂/kWh程度)

※ 約700万t-CO₂および約1,100万t-CO₂は、2013年度以降の主な電源開発におけるBAT(Best Available Technology:経済的に利用可能な最良技術)の導入による効果等を最大削減ポテンシャルとして示したものの

CO₂以外の温室効果ガス排出実績

当社は変電所のガス遮断機などの電力機器で使用される六フッ化硫黄(SF₆)など、地球温暖化への影響が大きいCO₂以外の温室効果ガスについても排出抑制に取り組んでいます。

◆ 当社のSF₆の回収率、およびHFCの保有量・排出量 (2015年度実績)

SF ₆	【回収率】99.4% 【用途】主にガス遮断機等の電力機器の絶縁材等に使用。 【対策】SF ₆ ガス回収装置を使用し、大気放出の防止に努める。
HFC	【保有量】52.6t 【排出量】1,394t-CO ₂ 【用途】主に空調機器の冷媒等に使用。 【対策】機器設置・修正時の漏洩防止・回収・再利用に努める。

※ SF₆:六フッ化硫黄、HFC:ハイドロフルオロカーボン